

令和3年7月 26 日

受験生・保護者の皆様
高等学校等進路指導ご担当者 様

奈良女子大学生活環境学部長
中山 徹(公印省略)

生活環境学部文化情報学科の設置について(ご報告)

奈良女子大学生活環境学部では既設の情報衣環境学科生活情報通信科学コースと生活文化学科を発展的に融合した文化情報学科の設置を構想して参りましたが、7月 20 日付で文部科学省より学科設置報告書受領の報を受け、令和4年4月より文化情報学科(生活文化学コースと生活情報通信科学コースの2コース制。入学時よりいずれかのコースに分属)を設置することとなりましたので、お知らせいたします。このことに伴い、情報衣環境学科と生活文化学科については学生募集を停止させていただくこととなります。ご報告が遅くなりました点、心よりお詫び申し上げます。新学科の情報については、追ってパンフレット・ホームページ等で公表させていただく予定です。こちらにつきましてもうしばらくお待ちくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

文化情報学科においては SDGs と Society5.0 をキーワードに、これまで生活文化学科が教育研究の対象としてきた SDGs の目標とも関連する人間・社会・経済・環境等への理解と、情報衣環境学科生活情報通信科学コースが教育研究の対象としてきた Society5.0 の目標とも関係する数理・データサイエンス・人工知能・ビッグデータ・SNS 等を含む情報通信科学への理解を基盤に、この先の生活環境がどんな人にとってもより良いものとなるよう、自ら考え、自ら提言できるリーダーを育成することを目指します。生活文化学科の学生が卒業後に多く就職してきた官公庁においても DX (デジタルトランスフォーメーション)に対応できる人材が求められています。また、情報衣環境学科生活情報通信科学コースの卒業生が卒業後に多く就職してきた情報通信関連企業においても人間や社会・生活環境への深い理解に基づき、全ての人が不自由なく、不便なく使える情報システムを構築できるエンジニアが強く求められています。文化情報学科の教育課程は幅広い教養を身に付けられる初年次教育、SDGsの目標をテーマに学科全教員・学生で行うPBL 演習、既設学科・コースで確かな実績のある専門教育を通じて、学生が自ら考え、自ら提言できるリーダーに成長できる教育課程となっています。是非ご注目下さい。

なお、目下受験勉強に打ち込んでおられる受験生や保護者の皆様、進路指導ご担当の先生方にとって一番の関心事は入学試験のことであろうと思います。文化情報学科の入学試験についてはこれまで情報衣環境学科生活情報通信科学コースと生活文化学科が実施してきた試験内容と変更はございません。(入学試験についてはコース別に実施します)情報衣環境学科生活情報通信科学コースや生活文化学科への合格に向け努力されてきた受験生の皆様には、安心して文化情報学科の入学試験に臨んで下さることを強く願っております。

(注)令和4(2022)年度入学者選抜要項については、奈良女子大学HPにて公表済みです。

<http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/Senbatsuyoukou.pdf>

以上